

## 2022年度第1回新潟競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ わらび賞

わらびは、コバノイシカグマ科のシダ植物。日当たりのよい山地に生え、早春、先端がこぶし状に巻いた新芽が地下の根茎上から直立して芽吹く。根茎は砕いてデンプンとして用いられ、このデンプンからわらび餅が作られる。

#### ○ 大日岳特別

大日岳（だいにちだけ）は、新潟県北部にある飯豊山地の最高峰。標高 2,128m。近くには飯豊連峰と呼ばれる、飯豊山、北股岳などの 2,000m級の山々が連なっている。

#### ○ 谷川岳ステーキス（L）

谷川岳（たにがわだけ）は、群馬県と新潟県の境にある山。標高 1,977m。一ノ倉岳・万太郎山・茂倉岳などとともに谷川連峰を形成している。険しい岩壁や複雑な地形が入り組んでおり、ロッククライミングのスポットとしても有名。

### <第2日>

#### ○ 咲花特別

咲花（さきはな）は、新潟県五泉市を流れる阿賀野川の溪谷沿いにある温泉地。泉質は硫黄泉で、溪谷美を眺めながら温泉に浸ることができる。

#### ○ 駿風ステーキス

駿風（しゅんぷう）は、駿馬の「駿」と春風の「風」とを掛け合わせた造語。新潟競馬場の直線コースを駿馬が風のように走るイメージから名付けられた。

#### ○ 新潟大賞典（GⅢ）

本競走は、昭和 42 年から 53 年にかけて実施されていた『福島大賞典』（53 年は『新潟ステーキス〈第 12 回福島大賞典〉』の名称で実施）の廃止に伴い、54 年に創設された重賞競走。当初は 2000m のハンデキャップ戦であったが、59 年に 2200m に延伸された。平成 7 年から再び 2000m に変更され現在に至る。

## <第3日>

### ○ 尖閣湾特別

尖閣湾（せんかくわん）は、佐渡市西部の小湾の総称。佐渡弥彦米山国定公園に属する。海底火山の噴火により隆起した段丘崖が海食を受け、外海府海岸の景勝地となっている。

世界的に有名なノルウェーのハルダンゲル・フィヨルドの峡尖美に似ていることから、それを直訳して名付けられた。

### ○ 胎内川特別

胎内川（たいないがわ）は、新潟県と山形県の境を流れる川。延長 39.1km。飯豊山地の藤十郎山に源を発し、北西に流れ、途中で複数の支川と合流し日本海へ注ぐ。

### ○ 邁進特別

邁進（まいしん）は、ひたすら目的に向かって進むこと。新潟競馬場の直線コースを、競走馬がひたすらゴールを目指して進むイメージから名付けられた。

## <第4日>

### ○ はやぶさ賞

はやぶさは、ハヤブサ科の鳥。背面が青灰色で、腹面は白地に褐色の斑点があり、目の下に暗色斑が伸びている。くちばしは鋭く曲がり、翼は長くて先が尖っている。また、急降下時の速度は時速 300 km に到達すると言われている。

### ○ 中ノ岳特別

中ノ岳（なかのだけ）は、新潟県南東部、越後山脈中にある山。標高 2,085m は、越後駒ヶ岳、八海山とともに形成する越後三山の最高峰。急峻な岸壁、鋭い山稜、越年性雪渓のある山容が特徴。

### ○ 弥彦ステーキス

弥彦（やひこ）は、新潟県中部にある村。同村と長岡市にまたがってそびえる弥彦山は、佐渡弥彦米山国定公園の中核をなす標高 634m の山であり、弥彦神社の霊峰である。弥彦神社の燈籠神事は、昭和 53 年に国の重要無形民俗文化財に指定された。

## <第5日>

### ○ 早苗賞

早苗（さなえ）は、苗代から田に移し変える時期の、若い稲の苗のこと。

### ○ 栃尾特別

栃尾（とちお）は、新潟県中部、長岡市の東部の地名。戦国武将の上杉謙信が青年期を過ごし「謙信公旗揚げの地」と謳われている。また、「栃尾のあぶらげ」が有名。栃尾では油揚げのことを「あぶらげ」と呼び、通常の約3倍もの大きさがある。

### ○ 八海山ステーキス

八海山（はっかいさん）は、越後山脈の一峰。標高1,778m。越後駒ヶ岳、中ノ岳とともに越後三山と称され、山頂部は険しい岩峰で形成されている。御岳行者が修行を積む霊峰として有名。

## <第6日>

### ○ 二王子特別

二王子（にのうじ）は、新潟県の北東部、胎内川上流にあたる飯豊連峰にある山。標高1,420m。溪谷美で知られる胎内川などとともに胎内二王子県立自然公園を形成している。

### ○ 火打山特別

火打山（ひうちやま）は、新潟県南西部にある山。標高2,462m。頸城三山の最高峰で、妙高山と新潟焼山の間位置する。名は、山容が火打石に似ていることに由来する。

### ○ 韋駄天ステーキス

韋駄天（いだてん）は、仏教の一神。仏舎利を盗んだ鬼を追いかけて捕まえた挿話から、「足の速い人」の意で用いられる。

## <第7日>

### ○ ゆきつばき賞

ゆきつばきは、ツバキ科の常緑低木。新潟県の県木に指定されている。日本海側の多雪地帯の山地に自生する。ヤブツバキに似ているが、花卉はやや薄く離生するものが多い。

### ○ 荒川峡特別

荒川峡（あらかわきょう）は、新潟県北部の岩船郡を流れる荒川の上流の峡谷。溪口は荒川峡温泉郷が広がっている。また、並行して走る国道 113 号線は、新緑シーズンから紅葉シーズンまでドライブコースとして人気がある。

### ○ 五泉特別

五泉（ごせん）は、新潟県下越地方にある市。阿賀野川中流域に位置する。織物産業が盛んで、五泉平と呼ばれる袴地が有名。京都の丹後、滋賀の長浜とともに全国三大白生地産地に数えられている

## <第8日>

### ○ 石打特別

石打（いしうち）は、新潟県南魚沼市の一地区。深雪地帯で、冬はスキー場に多くの観光客が訪れる。

### ○ 清津峡特別

清津峡（きよつきょう）は、信濃川の支流である清津川が形成した峡谷。上信越高原国立公園に属し、左右に切り立つ巨大な柱状節理の断崖とその峡谷美により国の名勝天然記念物に指定されている。また、黒部峡谷、大杉谷とともに日本三大峡谷のひとつに数えられている。

### ○ 三国特別

三国（みくに）は、新潟県南東部、南魚沼市の清津川峡一帯の通称。かつて三国街道に沿って三国三宿と呼ばれる宿場町があり、大いに栄えた。江戸時代の三国街道は、参勤交代路として関東（中山道の高崎以北）と越後を結ぶ、五街道に次ぐ主要な街道であった。